つながる EPO ネットワーク

全国8カ所に設置された 環境パートナーシップオフィス (EPO) の活動

| EPO北海道/札幌 | EPO東北/仙台 | EPO東北/仙台 | 関東EPO/東京 | EPO九州/熊本 | EPO中部/名古屋 | EPO中部/名古屋 | EPO中部/名古屋

政策コミュニケーションの場づくり

溝渕清彦 (環境省北海道環境パートナーシップオフィス)

EPO北海道は、2013年から「パブリックコメント・ワークショップ (パブコメWS)」に取り組んでいる。パブリックコメント制度は行政が法令や計画等を制定するにあたって、事前に案を示し、広く市民から意見を募集する仕組み。政策コミュニケーションの重要な機会である。しかし一人で政策を読み解き、自分の意



パブコメワークショップの様子

見を整理し、提案することもとても 大変だ。それを容易にすることをね らったのが、パブコメWSだ。

パブコメWSでは「ギャラリーセッション」と称する時間、拡大印刷された資料をみんなで眺め、意見や質問を書き込む。飲み物を手に、参加者同士で気軽に会話を交わし、自分の関心事に気づき、意見を固める。数日内に、主催者が紙に書き込まれた意見をHPに掲載するので、参加者全員の考えを自分の意見の素材として利用できるというものである。参加者のうち、一定数は確実に意見を提出しており、それが初めての制度の利用という方も多い。

これまで対象とした政策は「生物 多様性さっぽろビジョン (案)」な ど基礎自治体の政策から「第三次循 環型社会形成推進基本計画(案)」など国の政策までさまざま。近年では主催するよりも、市民活動団体や 行政の要請に応えて、実施協力を増 やそうとしている。

とはいえ、パブリックコメントは 政策立案過程の最下流。それで政策 が大きく変わることは期待できない。 これをきっかけとして、さらに上流 での政策コミュニケーションを進め ていきたいと考えている。

環境省北海道 環境パートナーシップオフィス

2006年に開設された環境省北海道環境パートナーシップオフィスは、環境省北海道地方環境事務所と公益財団法人北海道環境財団が協働で運営する協働取組の推進拠点。大通公園にほど近いオフィスで、個性も得意分野も違う4人が持続可能な北海道のために活動中。http://epohok.jp

つた Global Environment Outreach Centre

₩28-

2016年11月発行

編集・発行:地球環境パートナーシッププラザ

http://www.geoc.jp/ 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164

開館時間:10:00~18:00(火~金曜) セミナー開催時は21:00まで 10:00~17:00(土曜)

休館日:日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス (関東 EPO) 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064

業務時間:10:00~18:00

休業日:土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン:安食正之(北路社) 印刷:光写真印刷株式会社

GEOC/EPO からのお知らせ

2002年に創刊された「つな環」を、このたび、愛着あるロゴマークはそのままに、デザインのリニューアルをいたしました。もちろん、見た目だけではありません。私たちの専門分野から少し離れることで見えてくるものがあるのではないかという思いから、今号表紙には建築写真を使用しました。その理由は――ぜひ表紙コラムをご覧ください。誌面はすっきりと読みやすく

ということを心がけ、情報コーナーも 書籍だけでなく幅広い分野から選びま した。

でも、私たちの思いは果たして読者 の皆様に届いているのか。つきまして は、同封のアンケートにご協力をいた だけますと幸いです。送信はFAX かメ ールでお願いします。

今後とも「つな環」をどうぞよろし くお願いします。

つな環編集部

星野智子 平田裕之 尾山優子 藤原祥子 江口健介 今井麻希子(順不同)

つな環



「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。 http://www.geoc.jp/information/tsunakan





